

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理事業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2002年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	亀居遺跡第56地点	亀久保2-13-14	172	個人住宅	—	2002.11.5~11.21	教育委員会で本調査
2	鶴ヶ舞遺跡第6地点	鶴ヶ舞1-84	474	個人住宅	2002.9.10~9.13	—	試掘調査
3	江川南遺跡第16地点	東久保1街区	3,752	給油所	2002.9.24~10.4	—	試掘調査
4	江川南遺跡第17地点	東久保1街区20,22,23	474	土地区画整理	2002.10.29~11.11	—	試掘調査
5	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2,3画地	980	店舗	2002.6.10~6.11	—	試掘調査
6	東久保遺跡第50地点	東久保3-22	102	個人住宅	2002.9.24	—	試掘調査
7	東久保遺跡第51地点	東久保18-11画地	155	個人住宅	2002.12.3	—	試掘調査
8	東久保遺跡第52地点	東久保4街区3画地	64	個人住宅	2003.2.6~2.7	—	試掘調査
9	東久保西遺跡第15地点	東久保9街区3画地	225	個人住宅	2003.2.3~2.5	—	試掘調査
10	東久保南遺跡第27地点	東久保63街区1画地	610	共同住宅	2002.5.29~6.7	—	試掘調査
11	東久保南遺跡第28地点	東久保60街区3・4画地	322	共同住宅	2002.9.13~9.21	—	試掘調査
12	東久保南遺跡第29地点	東久保64街区1・4画地	736	駐車場	2003.3.17~3.20	—	試掘調査
13	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	165	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
14	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	155	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
15	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	132	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
16	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	140	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
17	西ノ原遺跡第123地点	大井・苗間19街区10画地	252	共同住宅	2002.9.3~9.9	—	試掘調査
18	西ノ原遺跡第124地点	苗間137-2	524	個人住宅	2002.10.2~10.6	2002.10.8~10.11	教育委員会で本調査
19	西ノ原遺跡第125地点	旭1-8-2	182	個人住宅	2003.2.14~2.19	—	試掘調査
20	中沢前遺跡第20地点	大井・苗間33 35-8-1	762	老人介護施設	2003.2.3~2.5	2003.4.7~6.3	試掘後、調査会で本調査
21	中沢前遺跡第24地点	大井・苗間30-5	185	個人住宅	2003.2.7~2.13	—	試掘調査
22	神明後遺跡第18地点	苗間304-1,303-6	672	分譲住宅	2002.5.15~5.25	2002.5.27~6.21	試掘後、調査会で本調査
23	神明後遺跡第19地点	苗間264-4	216	個人住宅	2002.9.18~20	—	試掘調査
24	神明後遺跡第20地点	苗間293-11	143	個人住宅	2003.1.14~1.15	—	試掘調査
25	神明後遺跡第21地点	苗間283-1	674	造成	2003.1.10~1.30	—	試掘調査
26	浄禅寺跡遺跡第22地点	苗間373-5,377-5・3・4,373-8	935	分譲住宅	2002.4.23~5.14	—	試掘調査
27	大井宿遺跡第7地点	大井・苗間37街区14画地	257	事務所	2002.4.15~4.16	—	試掘調査
28	大井宿遺跡第9地点	大井1-3-14,15	1,617	宅地造成	2003.2.26~4.3	2004.7.30~9.3	試掘後、調査会で本調査
29	大井氏館跡遺跡第14地点	大井・苗間129街区2画地	984	共同住宅	2002.5.22~6.6	2002.6.20~8.9	試掘後、調査会で本調査
30	大井氏館跡遺跡第15地点	大井・苗間126街区1画地	135	個人住宅	2002.7.24~8.2	—	試掘調査
31	大井氏館跡遺跡第16地点	大井2-242-1	677	個人住宅	2002.8.5~8.22	2002.8.23~9.5	教育委員会で本調査
32	大井氏館跡遺跡第17地点	大井1-11-9	50	道路	—	2002.11.19~12.2	教育委員会で本調査
33	大井氏館跡遺跡第18地点	大井・苗間80-6-9	476	個人住宅	2003.1.17~1.22	—	試掘調査、大井宿8地点を変更
34	本村遺跡第99地点	大井・苗間99-1	446	共同住宅	2002.6.19~21	2002.7.1~7.31	試掘後、調査会で本調査
35	本村遺跡第100地点	大井・苗間85街区7画地	463	分譲住宅	2002.8.20~8.26	—	試掘調査
36	本村遺跡第101地点	大井・苗間131-2	217	店舗併用住宅	2002.9.30~10.4	—	試掘調査
37	本村遺跡第102地点	大井・苗間101-7画地	1,264	共同住宅	2002.11.11~11.15	2002.12.11~2003.2.10	試掘後、調査会で本調査
38	本村遺跡第103地点	大井143	237	個人住宅	2003.2.13~2.18	—	試掘調査
39	本村遺跡第113地点	東原52-22	1,051	駐車場	2002.8.22	—	試掘調査、地点を後付加
40	東台遺跡第39地点	大井626-8	100	個人住宅	2002.6.3~6.20	—	試掘調査
面積合計			21,181				

XII 東久保南遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

東久保南遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐさかい川の谷頭部から、約400～500m程下った左岸に位置している。標高19～21mで現谷底との比高差は1m以下ではほぼ平坦である。現在は盛土されているが、東端には大雨の時に冠水して池になる窪地がみられた。さかい川は富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源をもつ伏流水で現在は下水路となっている。なお、富士見市にも遺跡範囲は拡がっており、同じ東久保南遺跡で登録され、同遺跡と接して「オトウカヤマ」と呼ばれる塚があり、1982年と1999年に富士見市教育委員会により試掘調査が実施されている。

周辺の遺跡はさかい川の対岸に縄文時代中期の大規模集落である西ノ原遺跡、さかい川下流には縄文時代中期後半の集落である中沢遺跡がある。

1981年以来2005年3月現在37ヶ所で調査が行なわれ遺跡全体の90%を調査し、縄文時代中期の住居跡2軒、奈良・平安時代の住居跡4軒（1軒は富士見市内）、縄文時代の落とし穴・土坑・炉穴や時期不明の溝跡が確認されている。遺跡の現況は区画整理事業がほぼ完了し、町内でも開発が最も活発な地域である。

2 東久保南遺跡第27地点

（1）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2002年5月10日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東側に位置しているため原因者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年5月29日から同年6月7日まで行なった。幅約2mのトレンチを7本設定し、重機により表土除去し、人力で表面精査したところ、溝跡とピットを検出した。確認面まで30cmを測る。検出遺構を調査し写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

（2）遺構

【溝】調査区の北西隅に位置し、南北方向に向かう。

検出部分の幅は70cm、深さ21cmである。

【ピット】出土遺物ないが時期は縄文時代。

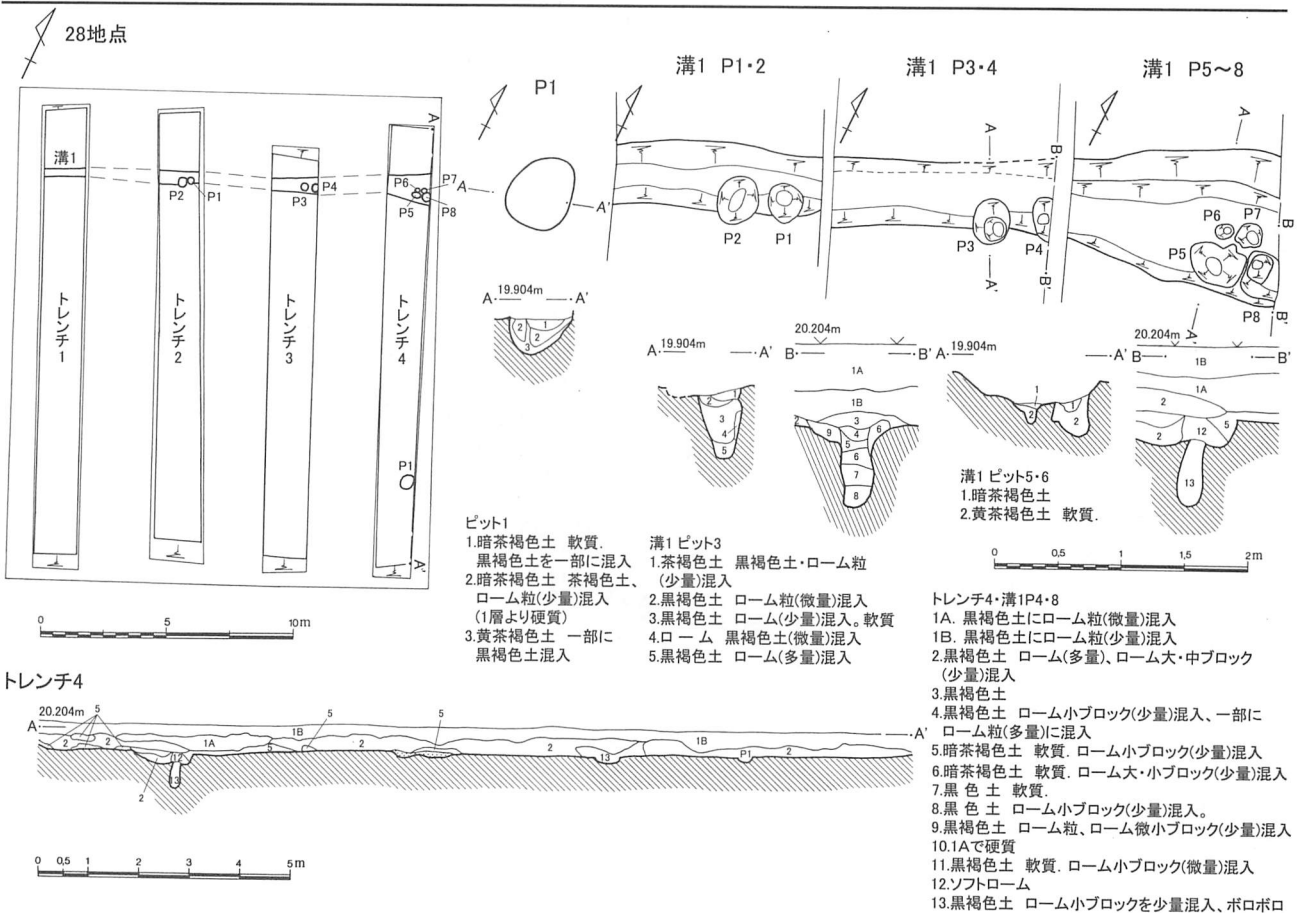
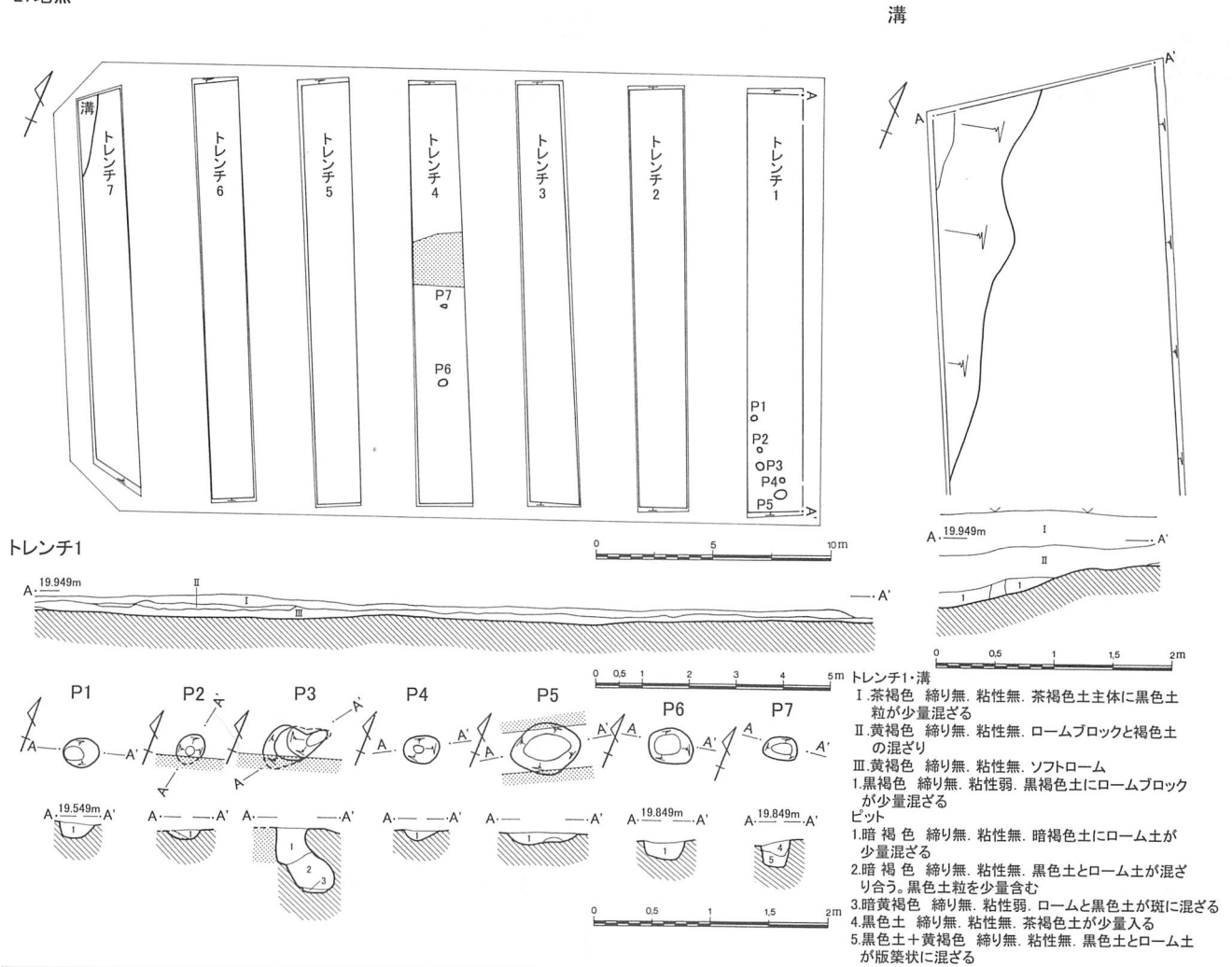
第13表 東久保南遺跡第27地点ピット一覧表（単位cm）

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	楕円形	30 × 24	17 × 10	9	
2	楕円形	27 × 23	8 × 7	13	
3	楕円形	60 × 34	20 × 10	54	斜向
4	楕円形	30 × 24	8 × 6	9	
5	楕円形	60 × 42	44 × 25	10	
6	楕円形	38 × 30	22 × 16	18	
7	楕円形	25 × 20	18 × 10	20	



第36図 東久保南遺跡の地形と調査区（1/4,000）

27地点



第37図 東久保南遺跡第27・28地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、溝、ピット (1/60)

3 東久保南遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2002年8月13日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置するため原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年9月13日から同年9月21日まで行なった。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機により表土除去後、人力で表面精査したところ、ピットを伴う溝跡を検出した。確認面まで50cmを測る。写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構

【溝】調査区の北側に位置し、東西方向で15mにわたって検出した。検出部分の上幅50～115cm、下幅30～70cm、深さ10～20cmである。ピットを伴う。

第14表 東久保南遺跡第28地点溝ピット一覧表(単位cm)

No	平面形態	確認面		底面		深さ	備考
1	円形	30	× 24	17	× 10	9	
2	円形	27	× 23	8	× 7	13	
3	楕円形	35	× 30	12	× 12	56	
4	楕円形	30	× 24	8	× 8	58	
5	楕円形	35	× (15)	15	× 12	44	
6	円形	15	× 10	5	× 5	35	
7	円形	20	× 20	12	× 9	47	
8	長方形	35	× 30	8	× 7	66	

4 東久保南遺跡第29点

(1) 調査の概要

調査は駐車場敷設に伴うもので、原因者より2003年3月10日付(A区)および同年3月31日付(B区)で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西側に位置し、隣接する第2、12地点では平安時代の住居跡等を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

A区の試掘調査は2003年3月17日から同年3月22日まで、B区の試掘調査は2002年5月19日から同年5月28日まで行なった。幅約2mのトレンチを設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、炉穴、住居跡等を検出した。A区については遺構確認面までの深さは20cmしかなく遺構の保存が困難な

ため、再度協議を行ない、原因者負担による本調査を実施することになった。

本調査は2003年3月24日から同年4月7日まで、大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代前期の炉穴、縄文時代中期の住居跡1軒、奈良時代の住居跡1軒を検出した。(「東久保の遺跡」大井町遺跡調査会2005既刊行)

B区では溝と土坑1基を検出したが、確認面まで90cmを測る。工事による遺構への影響がないため盛土保存とし、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

【土坑1】平面形は楕円形、底は平坦で、立ち上がりは直立し、上端で開く。上端245×150cm、下端134×65cm、深さ76cmを測る。出土遺物は無い。

【溝1】調査区南東に位置し、東久保南遺跡第7地点で検出した溝5の延長部分にあたる。溝は南北方向に向き、トレンチ中央付近で東へ屈曲し第7地点の溝6と接続する。

【溝2】調査区北東に位置し、東久保南遺跡第7地点で検出した溝6と第4地点の溝1・3に接続する。溝は掘り返され、溝2a～溝2eの5条に分かれる。第6地点からきた溝は本地点で直角に屈曲し、北方向に向かい、さらに二股に分かれ第4地点の溝1・2に接続する。

第15表 東久保南遺跡第29地点溝一覧表(単位cm)

No	確認面		底面		深さ	備考
1	70	～ 105	25	～ 35	40	7 地点溝 5
2 a	120	～ 205	25	～ 35	80	7 地点溝 6
2 b	40	～ 50	20	～ 25	45	4 地点溝 3
2 c	40	～ 50	20	～ 25	60	4 地点溝 2
2 d	120	～ 205	15	～ 20	90	7 地点溝 6
2 e	120	～ 205	15		105	7 地点溝 6

5 東久保南遺跡第30地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年7月28日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北側に位置し、隣接地で遺構を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年8月4日から翌5日に行なった。



東久保南遺跡第27地点試掘調査



東久保南遺跡第27地点試掘調査溝



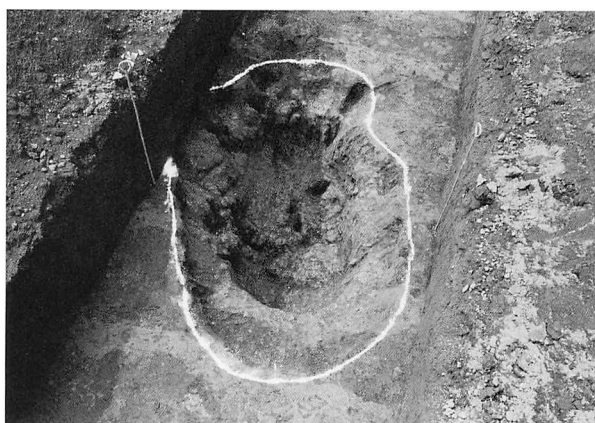
東久保南遺跡第28地点試掘調査



東久保南遺跡第28地点試掘調査溝



東久保南遺跡第29地点 A 区試掘調査



東久保南遺跡第29地点 B 区試掘調査土坑



東久保南遺跡第29地点 B 区試掘調査溝



東久保南遺跡第30地点試掘調査